—Peace Through Service— 2012-13 R.I. President 田中作次 R.I.D.2610 Governor 中尾哲雄

国際ロータリー第2610地区 南砺ロータリークラブ

クラブ会報

な　ん　と

NO. 2163

URL http:www.nanto-rc.jp　E-mail office@nanto-rc.jp

例会日／火曜日　12：30点鐘　例会場／富山銀行福光支店４階 ◆事務局／富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

子供の日

撮影　写真同好会　三吉外男会員

第2223回例会　平成25年５月７日(火)晴

《例会変更》南砺RC創立45周年記念事業苗植え：桜ヶ池堤防6：00　例会：自遊の森レストラン２階

◆点鐘　６：45　　中田　修会長

◆司会　　永井則平ＳＡＡ

◆ソング　「国歌」「四つのテスト」

◆ゲスト　土地改良区･ナチュラリスト　水上成雄氏、小原耕造氏ほか２名の方、南砺ＲＡＣ４名

◆会長の時間　　中田　修会長

改めまして、おはうございます。

先週、日曜日には例会変更ならびにＲＡＣ35周年記念例会に出席を頂きましてありがとうございました。そして今朝は、我が南砺ＲＣの45周年事業に朝早くから桜ヶ池土地改良区、城端ナチュラリストの方々、ＲＡＣメンバーの参加を頂きリンドウ及び今年度から富山県レッドデーターブック絶滅危惧種Ⅱ類に記載されている『オミナエシ』を植栽することができました。ありがとうございました。皆さんに植えていただいた苗は3年前、桜ヶ池堤防自生地で採取した種子をもとに小矢部園芸高等学校島田教諭に依頼し生徒たちが繁殖、株分けをして育てたものです。今後、バイオテクノロジー技術を使いある程度自生地が復活するまで人工的に繁殖させてやりたいと思っています。これからも多くの市民の皆さんのご協力と次年度会長の細川君に委ねたいと思いますのでよろしくお願いします。

◆出席報告　　上坂武喜委員長

会員数	５月７日出席率	４月16日の修正
５６ （免除０）	８３．９３％ （欠９）	８０．３６％ （欠11メーク１）

メーキャップ：松井洋司君

◆幹事報告　　渡邊秀一幹事

①2013-2014地区補助金審査が通りました。
②5月のロータリーレートは1ドル＝98円です。
③5月25日(土)の45周年記念例会への出欠を事務局までお願いします。
④次回例会は５月14日になります。理事会も行います。

◆委員会報告

○社会奉仕　　牧　千収委員長

多数の方の参加を戴いておかげ様で天候にも恵まれて早く終わる事が出来ました。ご協力ありがとうございました。

☆ニつニつボックス　　山田勉委員長

渡辺君　45周年記念事業、早朝より大変ご苦労様でした。秋の楽しみがふえました。
細川君　おみなえしさん、元気に大きくなって下さい。
牧　君　45周年記念事業として、リンドウ、オミナエシ苗植え、多くの会員の協力を有難う。
松井君　45周年行事、リンドウ、オミナエシ頑張って育って！！
尾山君　皆さんご苦労様でした。
松村君　リンドウ、オミナエシ〇株を植えて。
山田英君　朝、大変寒かったです。ゴールデンウィークも過ぎ、忙しくなります。台湾旅行宜しくお願いします。
藤田君　45周年おみなえしを植える例会に出席して。
米田君　今朝早い時間に起きて参加出来ました。久しぶりの早起きでした。
荒井君　クラブ創立45周年記念事業、早朝よりご苦労様でございます。
桶谷君　おみなえしもリンドウのように皆さんから愛されますように。
税光君《七草や １つへっても 七草か》六草にならないよう。
岩木君　恒例の早朝例会、気持ちがすがすがしいです。
古瀬君　早朝例会お疲れ様です。
船藤君　早朝例会、寒い朝でした。リンドウとおみなえし、うまく育ちますように。
丹羽君　リンドウ・おみなえしきれいな花になってね。
片山道君　花が咲くのを楽しみにしています。
西川君　おみなえし、りんどうを植えました。秋の七草で一杯になる事を願っています。
中田裕君　さわやかな朝です。
上坂君　クラブ45周年記念事業に桜ヶ池にて、おみなえし、りんどうの植付けをしました。たくさん自生する様に。
湯浅君　女郎花（おみなえし）を植えさせていただき、感動感謝します。有難う。
岡部君　今朝は45周年記念早朝例会参加して。
井沢君、谷村君、木本君、三吉君、畑山君、安谷君、西村君
高野君、片山浩君／　45周年記念事業に参加して。
久恵君　元気に育て！！
北島君　気持ちの良い朝でした。
高田君　城端へようこそ。
山田勉君　水上先生有難うございます。

本日のプログラム　５月14日(火)　第2224回
クラブ創立45周年準備例会
米田直弘実行委員長担当

次回の予定　５月21日(火)　第2225回
地区協議会報告
細川誠三会長エレクト担当

◆クラブ創立40周年記念事業：りんどう・おみなえし苗植え

牧千収記念事業委員長担当

「桜ヶ池の植生」

城端ナチュラリスト会長
桜ヶ池土地改良区理事　水上成雄氏

お早うございます。女郎花は富山県のレッドデーターブックに載っております。ここ桜ヶ池の辺りはやせた土地で軍隊の演習地になっていました。その頃はこの辺り女郎花や他の草も色々生えていました。戦後人の手が入らず草丈が長くなると、女郎花が生え難くなってきた。今日の場所は土地改良区で年２回草刈をするので、竜胆、女郎花が生育するのに適している。

秋になると花が咲いて判別し易くなるから10月頃にまた見に来てください。　(要旨のみ)

●リンドウ（竜胆）

リンドウ科リンドウ属の多年生植物である。
本州から四国・九州の湿った野山に自生する。花期は秋。花は晴天の時だけ開き、釣り鐘型のきれいな紫色で、茎の先に上向きにいくつも咲かせる。高さは50cmほど。葉は細長く、対生につく。

●おみなえし　【女郎花】

オミナエシ科の多年草。山野に自生。高さ約1m。葉は対生し、羽状に全裂。夏から秋にかけて茎頂に、黄色の小さな花が傘状に群がり咲く。漢方で干した根を利尿剤とする。秋の七草の一。オミナメシ。［季］秋。

《50年に向って、続けよう、変えよう、楽しもうロータリー》
45周年テーマ

◆南砺ＲＣ創立45周年記念事業

2013年５月７日(火)　6:00　　作業開始

リンドウ･オミナエシを桜ヶ池周辺自生地に復活させよう！

小矢部園芸高校、福野高校農業環境科の生徒さんに増殖して貰った苗を、会員の手で植えつけし、現地に、啓蒙のための看板(リンドウ)の補修および新たな案内板(オミナエシ)も設置いたしました。

◆当クラブの取り組み

当クラブでは社会奉仕活動として、富山県「レッドデーターブックとやま」絶滅危惧種Ⅱ類に記載されている**『リンドウ』**を絶滅から守るために2004年に事業計画に盛り込み、以来毎年、早朝例会で、福野高等学校農業環境科の生徒がバイオテクノロジーで育てた苗を譲り受け自生地に植えてきた。今では秋になると青紫色の花が見られるようになった。2007年度には、ロータリアンのみならず、地域の人々に自然環境の理解を深めるため、「リンドウプロジェクト」として取り組み、８月の会議には当クラブ会員をはじめ、ローターアクト、インターアクト会員、福野高等学校農業環境科生徒、桜ヶ池土地改良区（地主）にも参加いただき、今後の課題が熱心に話し合われ、増殖も大切だが啓蒙活動も平行しておこなう事とした。10月、生徒のデザインを取り入れ、自生地にリンドウ啓蒙案内板を設置した。

08年５月18日(日)市民参加による第４回目の苗植え会が開催された。地味な活動ではあるが毎年少しずつリンドウが増えているのが確認でき、マスコミにも取上げられた。啓蒙案内板などにより自然環境に対する理解が増えることを願って、以後も福野高校農業環境科生徒さんの苗を毎年５月当会員による植付を続けている。

今回、県立小矢部園芸高校園芸クラブの生徒さんの協力を得て**「オミナエシ」**の復活も目指すことにし、桜ヶ池自生地で採取した種子をもとに株分けなどで増殖した苗を植える事になりました。桜ヶ池土地改良区（地主）ナチュラリスト、ローターアクターの皆さんにも参加していただきました。

■今後の取り組み

日々幾多の動植物が絶滅する自然環境であるが、自生種『リンドウ』『オミナエシ』も人の手で育つのではなく、自生できる環境づくりが大切と思われます。それまで、各高校でバイオテクノロジーや株分けなどで増殖されたものを植え込み繁殖を目指したい。

（今回の会報担当　税光信作）

オミナエシ
自生地復活へ
南砺ＲＣ
桜ケ池公園に株植栽

南砺ロータリークラブ（RC）は7日、南砺市の桜ケ池公園内に、秋の七草の一つとして親しまれるオミナエシの苗100株を初めて植えた。オミナエシは県版レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ種に分類され、公園内でも20年ほど前まで群生していたが、年々減少していた。9年前から保護活動を続けるリンドウと合わせ、今後5年間で千株以上を植え、自生地復活を目指す。

南砺RCの創立45周年記念事業として行われた。中田修会長、記念事業実行委員会の牧千収委員長ら会員をはじめ、南砺ローターアクト会員、ナチュラリストなど約50人が参加し、桜ケ池の堤防付近に株を植え込んだ。

オミナエシの株は、3年前に公園内の自生地で採取した種子を基に、小矢部園芸高園芸クラブに依頼して増殖させた。10月頃には黄色い花を咲かせる。

南砺RCは2004年から、県版レッドデータブックで危急種に指定されているリンドウの植栽活動を続けている。南砺福野高生が育てた苗をこれまでに千本以上植え、公園周辺の環境整備に尽力してきた。中田会長は「草刈りなどの手入れもしっかりと行い、荒廃しがちになっている里山の環境を守っていきたい」と話している。

オミナエシの花

オミナエシの株を植える南砺ＲＣの会員＝南砺市の桜ケ池公園

→北日本新聞　←富山新聞　5.8朝刊掲載

地域ワイド
オミナエシの里よ再び
城端 桜ケ池公園
南砺RCが苗植え

南砺ロータリークラブ（中田修会長）は7日、南砺市立野原東（城端）の桜ケ池公園に初めてオミナエシの苗を植えた。約10年前から繁殖に取り組んできたリンドウとともに自生地をよみがえらせ、里山の自然環境を整えるのが狙いだ。【webunに写真3枚】

南砺ロータリークラブは2004年からリンドウの増殖に本格的に着手。南砺福野高農業環境科生徒が育てた苗を譲り受け、桜ケ池周辺に植えてきた。秋に青紫色の花を咲かせるまでに成長した。

一方、オミナエシも里山の荒廃に伴って生息数が減り、県のレッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類に分類されていることから、同クラブ創立45周年記念事業として桜ケ池周辺での繁殖に取り組むことにした。

7日に用意したオミナエシの苗100本は、3年前に自生種から採った種子を小矢部園芸高園芸クラブ生徒が育てた。長さは約10㌢。ロータリークラブ員や地元ナチュラリストら約60人が、リンドウの苗100本とともに、植え込んだ。中田会長は「オミナエシなどの生育を妨げる雑草の刈り取りも手掛け、里山の良好な環境を取り戻したい」と話していた。

この記事は、webunで会員以外の方もご覧になれます。

草を刈り取ってオミナエシやリンドウを植える南砺ロータリークラブメンバーら